
Fコード

オオハタ ユウキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Fコード

【Nコード】

N28310

【作者名】

オオハタ ユウキ

【あらすじ】

従兄弟の涼子姉に恋心を抱いている僕の話。すいません勢いのまま書き出したんですが、途中でどうでもよくなってしまう、無理やり完結させました！ 反省！

「違う違う。Fは指をこうやってやるのよ」

背中に柔らかな感触が広がり、頬を髪の毛がくすぐったかと思うと、突然涼子姉の細い指が僕の指を押さえつけた。自分の顔が真っ赤になるのを感じて、「もう！わかってるよ！」と叫びながら涼子姉の体を押しのけた。

「何、恥ずかしがつてるの？」と今度は女とは思えないほどの力で僕の指を抑え、右手で弦を弾いた。きれいな音が鳴った。

「今度は一人でやってみて」

まだ興奮冷めやらぬ自分の――特に下半身と――心を無理やり鎮めるかのように、力いっぱい弦を弾いた。汚い音が鳴った。

「人差し指に力が入り過ぎ。あと他の指ももうちょっとちゃんと押して」

レクチャー通りに指を押さえ弾いてみると、さっきよりマシだが、それでもいびつな音が鳴った。

「ちょっとはマシになったわね。今日はこれぐらいにして、ご飯にしましょ」

従兄弟の涼子姉は、少し強引なところがあって男勝りなところもあるけれど、それでも高校生の僕にはすぐく大人に、そして魅力的に見えた。時々見せる笑顔は何にも敵わない。

僕たちは小さい頃からいつも一緒にいた。それも涼子姉が都会の高校にあがるまでで、次第に疎遠になっていった。僕は僕で中学を楽しんでいたので、寂しがる暇も無かった。それに、いくら寂しかったところで、涼子姉と昔のような純粋な気持ちで楽しむことは不可能だった。僕は涼子姉を好きになっていたし、涼子姉は僕じゃない他の男が好きになっていた。

そんな僕たちが共同生活をするようになったのは、神様の悪戯だ

としか思えなかった。父の転勤先が涼子姉の住むアパートの近くだったとは……。そしてまた転勤することになったのだが、「さすがに何度も転校させるわけにはいかない」と僕を涼子姉のアパートに残して夫婦で引越していった。

「これは運命だ！ 従兄弟だったら法律的にもオーケーだし！ 偶然なんかじゃあ、ない！」と興奮したけれど、涼子姉に彼氏を紹介されてその興奮も一気に冷め切ってしまった。数年ぶりに会った時の涼子姉は言葉にできないほど綺麗に見えたけれど、どうでもよくなってしまった。

今じゃこの共同生活も楽しく思えない。彼氏の影響で涼子姉がギターを弾くようになって、彼氏に対抗するかのように僕もギターをやるようになったけれど、Fコードもできない始末。

小さなワンルームの片隅で、Fコードを何度も何度も弾いていた。土日の二日間は、涼子姉は彼氏のところへ行ってしまうので、僕一人つきりだ。それにももう慣れていた。

「ああゝ 愛しの涼子姉はああゝ 僕以外の男の下へゝ 行つてしまつたああゝ」

隣人に壁を殴られたので歌うのはやめた。でもむかついたのでアンプのボリウムを最大にして、Fばかり弾いてやった！ これでもか！ これでもか！ この野郎！

「いい感じでできてるじゃない。でもちよっとうるさいわね」

土日はいないはずの涼子姉が、彼氏の影響で吸うようになった煙草を啜えながら玄関に立っていた。へ、なんでも影響受けやがって！

涼子姉は興奮冷めやらぬ僕の前を通り過ぎ、アンプの電源を切った。弦を鳴らすのが、情けの無い音しか鳴らなくなったので、ギターを壁に掛けて煙草を吸った。なんでも影響受けやがって！

「一緒にシャワー浴びる？」

気持ちよく吐き出した煙の残りが器官の変な場所へ入り、僕は思いつきり何度も咳き込んだ。また壁を殴られた。

僕は無事に高校を卒業して、大学へ進学した。涼子姉は涼子姉で、ずっと付き合っていた彼氏と結婚した。数年ぶりに会った涼子姉は、子供を産んですぐのせいかな、以前より少しふつくらして見えた。「禁煙しなよ」という僕の言葉に「来年するわ」と笑いながら答える涼子姉を思い出しながら、Fコードを鳴らしてみただけで、やっぱりいびつな音しか出ない。あの教えどおりにやってるんだけどなあ。

(後書き)

ありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2831o/>

Fコード

2010年10月13日19時59分発行